

中国・西安市の方が大気環境の研修のために来所されました。

京都市では、平成20年度から3年間にわたり、友好都市である中国・西安市の大気環境改善に向けた協力事業を実施しています。

今年度も西安市の環境行政に従事される5名の方が、6月30日～7月16日の17日間にわたり、大気環境改善事業について研修されました。研修の一環として、衛生公害研究所と当研究所の関係施設にも来訪されましたので、その様子を御紹介します。



【京都タワー測定局視察】(左写真)

京都タワー測定局（京都タワー展望室4階に設置）を視察されました。京都盆地の地上100mにおける大気状態を把握するために、気象（風向、風速及び気温）を観測しています。

当研究所職員による説明に熱心に耳を傾けられるとともに、気象観測機器やテレメータ（遠隔情報収集）装置などを撮影されていました。

【衛生公害研究所における研修】(右写真)

衛生公害研究所において、大気汚染常時監視に関する説明を行いました。内容は、『大気環境基準とその評価方法』、『測定データの精査方法』及び『光化学スモッグ注意報発令時の対応方法』などについてです。

写真右上のスクリーンには、中国語に翻訳した資料が映し出されています。



【自動車排出ガス南測定局視察】(左写真)

自動車排出ガス南測定局（南区総合庁舎・前庭に設置）を視察されました。ここでは、自動車からの汚染物質を測定しています。

西安市には、自動車排出ガス測定局がないため、一酸化炭素自動測定機や炭化水素自動測定機等に大変興味を持たれ、多くの質問をいただきました。



来年度は、3年間にわたる協力事業の最終年に当たります。更に充実した事業内容になるよう努めて参ります。